



# 志友会報

802-0985 北九州市小倉南区志井6丁目11-13  
(株)武出版 093(962)7740 FAX093(961)8224  
Eメール: saigo@skyblue.ocn.ne.jp

本紙の年間購読は本体3,000円+税です。

## 合気語録

**食とは直会である**  
直会とは、神事が終って後の、神酒・神饌を降ろして頂く酒宴のこと。またその降ろした神酒・神饌を指す。本来「なほらい」とは「ナオライ」のことで、「斎が直って平常にかえる」という意味のことである。食事を日々の直会と心得、ゆったりとした感謝の気持ちで採るようにすれば自ずと美食から粗食に移行し、食べる量も大食から少食に変化するというのが直会の教えである。こうした意識が徹底されれば、自然と食べる量は半分程度に抑えられ、粗食並びに少食は神の啓示に従うもので、この直会を徹底するだけで運が開かれるという開運の教えがここにはあるのである。

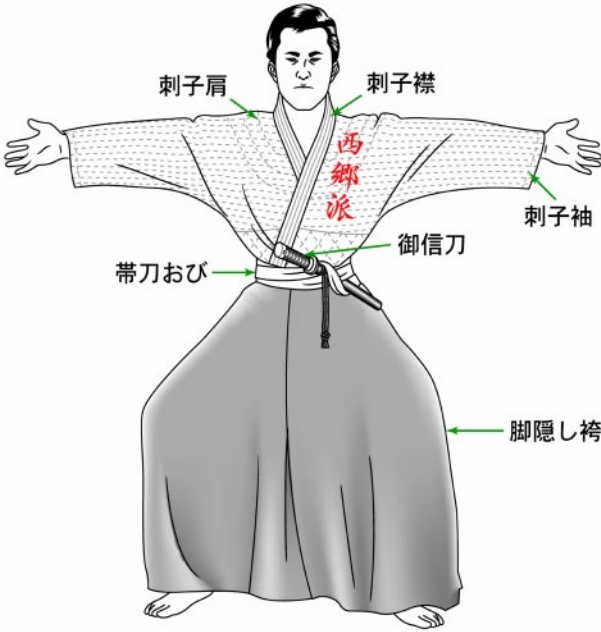
ここで、必然的に、また宿命的に動かされていく。この原動力になつていくのが食であり、人間の生死や勝負は全て運によって司られている。  
こうしたことを小日向は、後に千山の老師の命令で「頭弾」という役を仰せつかりながらひしひしと感じたという。

頭弾というのは、全人の真つ先を切つて敵陣に乗り込む、斬り込み隊長のことを言うのである。したがって死ぬ確率が高く、それでも死なずに生き残るのは「運」だ

といつたのだ。  
こつたことに千山の老師や道僧たちは「お前は北斗七星の守護神に守られている」と暗示を掛け、また葛月潭老師は「姓を尚、名を輔、号を旭東とし、武神の子と乗るがよい。『白』は百から一をとつて九十九歳の長寿を現わし、また太陽の『白日』を一字にまとめたものが『白』であり、『朗』は佳き月の夜を現わし、天地宇宙の神の啓示を現わす名として『白朗』と名乗れ」とされ、小日向は

本名の「権松」を白朗と名乗った。そして老師は「神霊の啓示として、食への乱れの愚と慎みを堅く戒めよ」と白朗に諭したのである。  
以降白朗はこの教えを生涯守り通すことになる。  
合気道の創始者・植芝盛平が出口王仁三郎に随行して、大本教事件を満蒙の地で引き起こすが、植芝はこの時、面会した白朗から「穀物肉食に徹して、血を汚し、霊的性質を穢す肉食を止めれば如何に窮地に追い込まれてもそこから生還できる」といつ話しを聞き、植芝自身も以降肉食の愚を犯すことはなかった。  
ちなみに大本教事件とは「西北に理想国家」を打ち立てるといふもので、出口らの満蒙入りにこの事件は由来する。既に出口王仁三郎は葛月潭老師らによって「東方の聖者」(丑寅の大魔神という意味)と称され、白朗は出口に会うことを老師から進められる。出口王仁三郎は大本教教主・出口才の養子で、京都府亀岡の出身であった。

## 刺子道衣の秘術



### 刺子道衣の秘術

曾て武当派拳法の達人で、日本人馬賊の長として大陸で勇名を馳せた小日向白朗(本名は権松)は、中国名を尚旭東といひ、徒名は小白龍あるいは小白臉または大白狼(は、有鬚の僧として道家仙術(医学薬草、冶金術、幻術、天文算数、予言、武術)を奇峰千山の無量観で葛月潭老師(大正年間当時、馬賊社会に殺生与奪の絶大な権力を持った道家僧)に学んだ。

**刺子道衣の秘術**  
素肌武術の源流を踏む流れに二種類の武術群がある。それは道衣によって見分ける事が出来る。一つは晒の帆布道衣であり、もう一つは柔術の道衣として用いられる。後者は中国大陸や朝鮮半島系の格闘術の道衣に見る事が出来る。これを現代流に解り易く表現すれば、「柔道衣」と「空手衣」の違いである。

刺子道衣は綿布を重ね合せて、一面に針抜きに細かく縫ったものであり、丈夫であるから、日本では火消しの消防服や、柔術用の道衣として用いられて来た。

刺子道衣の構造は、平織の上に同色または異色の縞と縷を浮かして、

刺子道衣の秘術を踏む流れに二種類の武術群がある。それは道衣によって見分ける事が出来る。一つは晒の帆布道衣であり、もう一つは柔術の道衣として用いられる。後者は中国大陸や朝鮮半島系の格闘術の道衣に見る事が出来る。これを現代流に解り易く表現すれば、「柔道衣」と「空手衣」の違いである。

刺子道衣は綿布を重ね合せて、一面に針抜きに細かく縫ったものであり、丈夫であるから、日本では火消しの消防服や、柔術用の道衣として用いられて来た。

刺子道衣の秘術を踏む流れに二種類の武術群がある。それは道衣によって見分ける事が出来る。一つは晒の帆布道衣であり、もう一つは柔術の道衣として用いられる。後者は中国大陸や朝鮮半島系の格闘術の道衣に見る事が出来る。これを現代流に解り易く表現すれば、「柔道衣」と「空手衣」の違いである。

刺子道衣は綿布を重ね合せて、一面に針抜きに細かく縫ったものであり、丈夫であるから、日本では火消しの消防服や、柔術用の道衣として用いられて来た。

刺子道衣の秘術を踏む流れに二種類の武術群がある。それは道衣によって見分ける事が出来る。一つは晒の帆布道衣であり、もう一つは柔術の道衣として用いられる。後者は中国大陸や朝鮮半島系の格闘術の道衣に見る事が出来る。これを現代流に解り易く表現すれば、「柔道衣」と「空手衣」の違いである。

**指導内容:**  
合気揚げを中心にした力貫・合気初伝から奥伝・合気柔術合気行法・野営実践稽古・野営における食養野草の智慧・霊的食養道など

詳しくはホームページで:  
<http://www.daitouryu.com/>

## 茨城地区宗家直伝講習会

講習会日時: 10月25日(土)午後五時半集合~26日(日)正午解散  
於て: JRA日本中央競馬会美浦厚生会館内・茨城支部道場

お問い合わせEメール: saigo@skyblue.ocn.ne.jp  
お問合せ: 〒802-0985 北九州市小倉南区志井6丁目11-13  
**総本部 尚道館** 093(962)7710代表